

## 全教「教職員勤務実態調査 2022」の結果報告

全日本教職員組合（全教）

全教は2022年10月24日（月）～30日（日）、10年に一度の勤務実態調査の4回目を実施しました。

全教、教組共関連絡会の各組織を通し、全国の学校種別・年代別の教職員の割合に比例した数で協力を依頼し、2524通を集計・分析（回収率74.3%）しました。下記の2種類の調査票への記入をお願いし、返信用封筒により全教に郵送または依頼した各組織が集約する形で回収しました。

\*調査票（1）：毎日の出退勤時刻や持ち帰り業務の時間、実際に取得した休憩時間、睡眠時間等を書き込み、30分ごとに勤務等の内容をチェックする

\*調査票（2）：属性など35の設問への回答を求める（調査票用紙への記入またはオンラインでの回答）

この報告は、1月19日と3月15日の2回に分けて発表した内容の概要です。

## 1. 回答者の属性等

\*全国の教職員の年代別および校種別の割合に近い割合で調査票を集約した。全国の教職員の実情をほぼ正確に反映したデータと考えてよいのではないか。

## ①性別

性別	回答数	割合
男性	1,217	48.2%
女性	1,285	50.9%
その他	3	0.1%
答えない	11	0.4%
無回答	8	0.3%
合計	2,524	100.0%

②今年度末の年齢 ※「参考」は全国の教職員の年代別割合  
(直近の学校教員統計調査より)

年齢	回答数	割合	参考
30歳以下	396	15.7%	16.6%
31～40歳	576	22.8%	24.4%
41～50歳	574	22.7%	22.1%
51～60歳	801	31.7%	31.3%
61歳以上	167	6.6%	5.6%
無回答	10	0.4%	—
合計	2,524	100.0%	100.0%

③校種別 ※「参考」は全国の教職員の校種別割合  
(直近の学校教員統計調査より)

校種	回答数	割合	参考
幼稚園	23	0.9%	1.8%
小学校	1,084	42.9%	44.4%
中学校	554	21.9%	24.9%
高校（全日制）	517	20.5%	18.8%
高校（定時制・通信制）	78	3.1%	
特別支援学校	253	10.0%	10.1%
その他	5	0.2%	—
無回答	10	0.4%	—
合計	2,524	100.0%	100.0%

## ④職種別

職種	回答数	割合
教諭・助教諭・講師等	2,209	87.5%
養護教諭	100	4.0%
学校栄養職員・栄養教諭	30	1.2%
実習教員	53	2.1%
寄宿舎指導員	15	0.6%
事務職員	62	2.5%
学校司書	23	0.9%
現業職員	10	0.4%
看護師	—	—
その他	13	0.5%
無回答	9	0.4%
合計	2,524	100.0%

## 2. 勤務時間の特徴

### (1) 時間外勤務の長さ

\* 全職種の、校内及び持ち帰りの時間外勤務の時間の平均は月 92 時間 34 分であるが、教諭の平均は月 96 時間 10 分であった。いずれも平均が厚生労働省の過労死ラインをはるかに超えている。  
\* 文部科学省の上限指針（月 45 時間）以内の教諭は 15%に満たず、月 80 時間以上が 56%。

#### ①時間外勤務（校内及び持ち帰りの合計）の平均

	教諭・助教諭・講師等	養護教諭	学校栄養職員・栄養教諭	実習教員	寄宿舎指導員	事務職員	学校司書	現業職員
平日	2時間22分	2時間27分	3時間09分	2時間21分	1時間46分	1時間33分	1時間27分	32分
土曜	3時間16分	2時間36分	2時間07分	3時間58分	3時間29分	1時間13分	36分	1時間21分
日曜	2時間17分	1時間10分	2時間08分	2時間46分	1時間32分	29分	25分	17分
4週間	89時間45分	64時間04分	80時間08分	70時間06分	55時間18分	37時間44分	33時間05分	17時間12分
1か月	96時間10分	68時間38分	85時間51分	75時間06分	69時間15分	40時間25分	35時間27分	18時間26分

#### ②時間外勤務の分布

	45時間未満	45～80時間未満	80～100時間未満	100時間以上
教諭・助教諭・講師等	14.5%	29.1%	17.4%	39.0%
養護教諭	30.5%	37.9%	15.8%	15.8%
学校栄養職員・栄養教諭	31.0%	20.7%	17.2%	31.0%
実習教員	29.4%	37.3%	15.7%	17.6%
寄宿舎指導員	33.3%	53.3%	0.0%	13.3%
事務職員	68.9%	19.7%	8.2%	3.3%
学校司書	73.9%	17.4%	8.7%	0.0%
現業職員	90.0%	10.0%	0.0%	0.0%

### (2) 休憩が取れていない

#### ①取得した休憩時間の平均（教諭・校種別）

\* 平日に取得した休憩時間の平均は 10.1 分。  
小学校 4.1 分、中学校 5.9 分。  
\* 校種別の分布をみると、教諭全体で 6 割以上、小・中では 7 割が全く休憩していない。

全体	10.1分
幼稚園	8.8分
小学校	4.1分
中学校	5.9分
高校	25.1分
特別支援学校	11.5分

#### ②取得した休憩時間の分布（教諭・校種別）

休憩時間（平日）	0分	1～15分	16分～30分	31分～45分	46分以上
幼稚園	61.2%	10.2%	27.6%	0.0%	1.0%
小学校	79.4%	11.3%	6.7%	2.0%	0.6%
中学校	72.6%	14.1%	9.3%	2.7%	1.4%
高校（全日制）	17.7%	17.1%	37.0%	22.8%	5.4%
特別支援学校	53.8%	19.0%	15.0%	11.5%	0.7%
全体	61.1%	14.0%	15.2%	7.8%	1.9%

(3) 時間外勤務の時間の比較

①教諭・校種別

\* 小・中・高の時間外勤務の合計が月 90 時間を超える。中学校は 100 時間を超えている。  
 \* 中・高の土日の校内での時間外勤務の長さは部活動の影響であろうか。  
 \* 持ち帰り仕事は幼稚園、小学校が長い。日曜日に幼・小・中は 1 時間以上。

校内時間外	幼稚園	小学校	中学校	高校	特別支援学校
平日	2時間05分	3時間05分	3時間22分	2時間35分	2時間28分
土曜	49分	1時間22分	4時間08分	3時間57分	50分
日曜	19分	33分	1時間55分	2時間20分	10分
4週	46時間09分	69時間15分	91時間31分	76時間52分	53時間19分
1か月	49時間27分	74時間11分	98時間04分	82時間21分	57時間08分

持ち帰り	幼稚園	小学校	中学校	高校	特別支援学校
平日	48分	30分	23分	23分	20分
土曜	44分	53分	44分	31分	33分
日曜	1時間32分	1時間16分	1時間05分	42分	55分
4週	25時間01分	18時間35分	14時間56分	12時間41分	12時間36分
1か月	26時間49分	19時間55分	16時間00分	13時間35分	13時間30分

時間外合計	幼稚園	小学校	中学校	高校	特別支援学校
平日	2時間51分	3時間34分	3時間44分	2時間57分	2時間48分
土曜	1時間34分	2時間15分	4時間52分	4時間28分	1時間22分
日曜	1時間51分	1時間49分	2時間59分	3時間03分	1時間05分
4週	70時間41分	87時間33分	106時間09分	89時間10分	65時間45分
1か月	75時間43分	93時間48分	113時間44分	95時間32分	70時間26分

②担任の有無

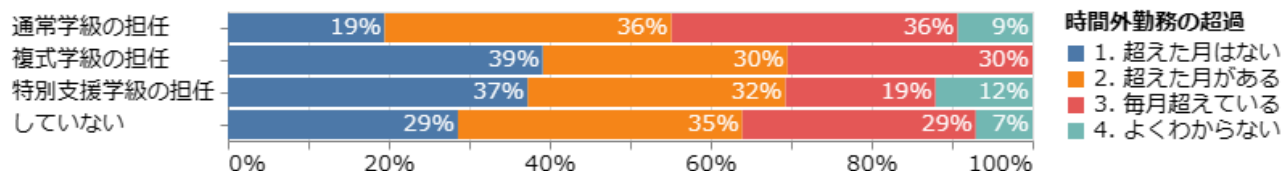
\* 通常学級担任の校内での時間外勤務が月 80 時間を超え、時間外の合計が 100 時間を超えているが、時間外の合計で見ると、少なくとも複式学級担任と特別支援学級担任、担任をしていないによる違いは、それほど認められないのではないか。

校内時間外	通常学級の担任	複式学級の担任	特別支援学級の担任	していない
平日	3時間19分	2時間37分	2時間41分	2時間41分
土曜	2時間37分	25分	2時間08分	3時間09分
日曜	1時間20分	1時間18分	45分	1時間29分
4週	82時間17分	59時間24分	65時間21分	72時間13分
1か月	88時間10分	63時間38分	70時間01分	77時間22分

持ち帰り	通常学級の担任	複式学級の担任	特別支援学級の担任	していない
平日	29分	41分	24分	24分
土曜	50分	1時間19分	41分	39分
日曜	1時間11分	1時間38分	1時間07分	52分
4週	17時間34分	24時間51分	15時間22分	14時間07分
1か月	18時間50分	26時間37分	16時間28分	15時間07分

時間外合計	通常学級の担任	複式学級の担任	特別支援学級の担任	していない
平日	3時間47分	3時間18分	3時間05分	3時間04分
土曜	3時間27分	1時間35分	2時間49分	3時間48分
日曜	2時間32分	2時間56分	1時間53分	2時間22分
4週	99時間38分	84時間13分	80時間26分	85時間51分
1か月	106時間45分	90時間14分	86時間11分	91時間59分

●あなたは、今年の4月以降、時間外勤務の上限指針（月45時間）を超えた月がありますか。



### ③通常学級で受け持つクラスの数

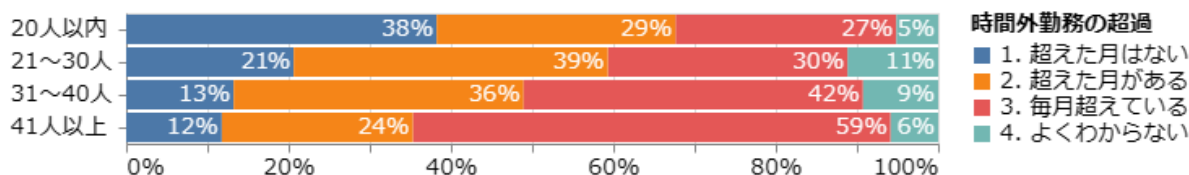
\* 受け持つクラスの子どもの人数が増えるほど時間外が長くなる傾向があるが、特に20人以内の場合とそれ以上の場合との差が大きい。  
\* 「上限指針を超えた月はない」と答えた割合が、20人以内では38%だが、21人以上ではそれよりかなり低くなっている。

校内時間外	20人以内	21～30人	31～40人	41人以上
平日	2時間43分	3時間21分	3時間28分	3時間1分
土曜	2時間07分	2時間00分	3時間09分	2時間55分
日曜	52分	58分	1時間41分	3時間46分
4週	66時間14分	78時間45分	88時間47分	86時間54分
1か月	70時間58分	84時間22分	95時間08分	93時間07分

持ち帰り	20人以内	21～30人	31～40人	41人以上
平日	26分	32分	27分	23分
土曜	51分	44分	51分	47分
日曜	1時間10分	1時間12分	1時間08分	1時間05分
4週	16時間38分	18時間30分	16時間49分	15時間16分
1か月	17時間50分	19時間49分	18時間01分	16時間21分

時間外合計	20人以内	21～30人	31～40人	41人以上
平日	3時間08分	3時間52分	3時間54分	3時間24分
土曜	2時間58分	2時間44分	4時間00分	3時間42分
日曜	2時間02分	2時間11分	2時間49分	4時間51分
4週	82時間36分	96時間58分	105時間25分	102時間10分
1か月	88時間30分	103時間53分	112時間56分	109時間28分

●あなたは、今年の4月以降、時間外勤務の上限指針（月45時間）を超えた月がありますか



#### ④部活動の顧問の有無

\* 対外試合やコンクールのある部活動の顧問の、土日の校内での時間外勤務の長さは突出しており、時間外の合計が月 100 時間を超えている。

\* しかし、対外試合やコンクールのない部活動の顧問や顧問をしていない場合、土日の持ち帰りが長くなっており、時間外の合計では両者による差があまり見られない。

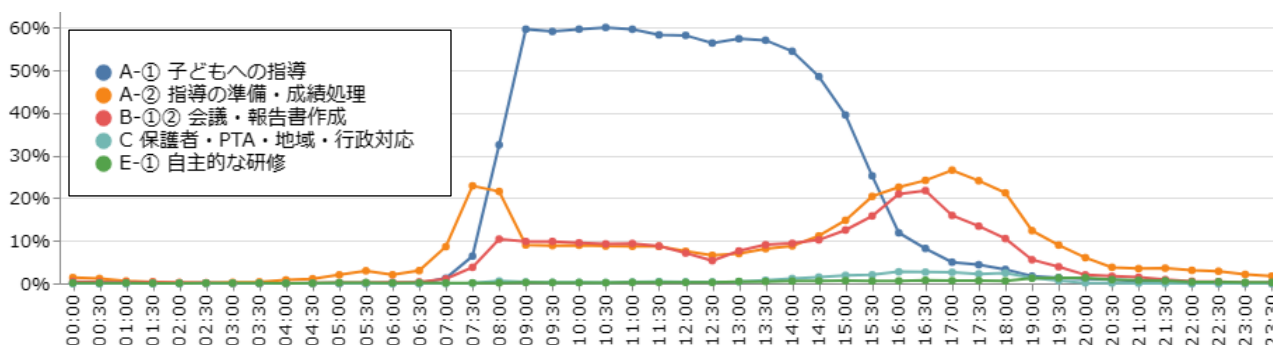
校内時間外	対外試合やコンクールのある運動部・文化部・組織の役員	対外試合やコンクールのない運動部・文化部	顧問はしていない
平日	3時間04分	2時間47分	2時間55分
土曜	4時間15分	1時間57分	1時間19分
日曜	2時間20分	54分	28分
4週	87時間41分	67時間00分	65時間29分
1か月	93時間57分	71時間48分	70時間10分

持ち帰り	対外試合やコンクールのある運動部・文化部・組織の役員	対外試合やコンクールのない運動部・文化部	顧問はしていない
平日	24分	29分	27分
土曜	35分	57分	48分
日曜	52分	1時間10分	1時間11分
4週	13時間37分	18時間01分	17時間05分
1か月	14時間35分	19時間18分	18時間19分

時間外合計	対外試合やコンクールのある運動部・文化部・組織の役員	対外試合やコンクールのない運動部・文化部	顧問はしていない
平日	3時間27分	3時間14分	3時間22分
土曜	4時間50分	2時間53分	2時間07分
日曜	3時間12分	2時間04分	1時間39分
4週	101時間00分	84時間39分	82時間17分
1か月	108時間13分	90時間42分	88時間09分

### 3. 業務の内容について（全職種）

#### (1) それぞれの時間帯に、どのような業務にあたっているか（平日）



\* 所定の勤務時間の時間帯はほとんどが「子どもへの指導」の時間となっており、「指導の準備・成績処理」は朝 6 時半から 8 時、放課後 15 時半からの時間帯に多く、数は少ないが深夜まで続いている。「会議・報告書の作成」も同様の傾向がある。

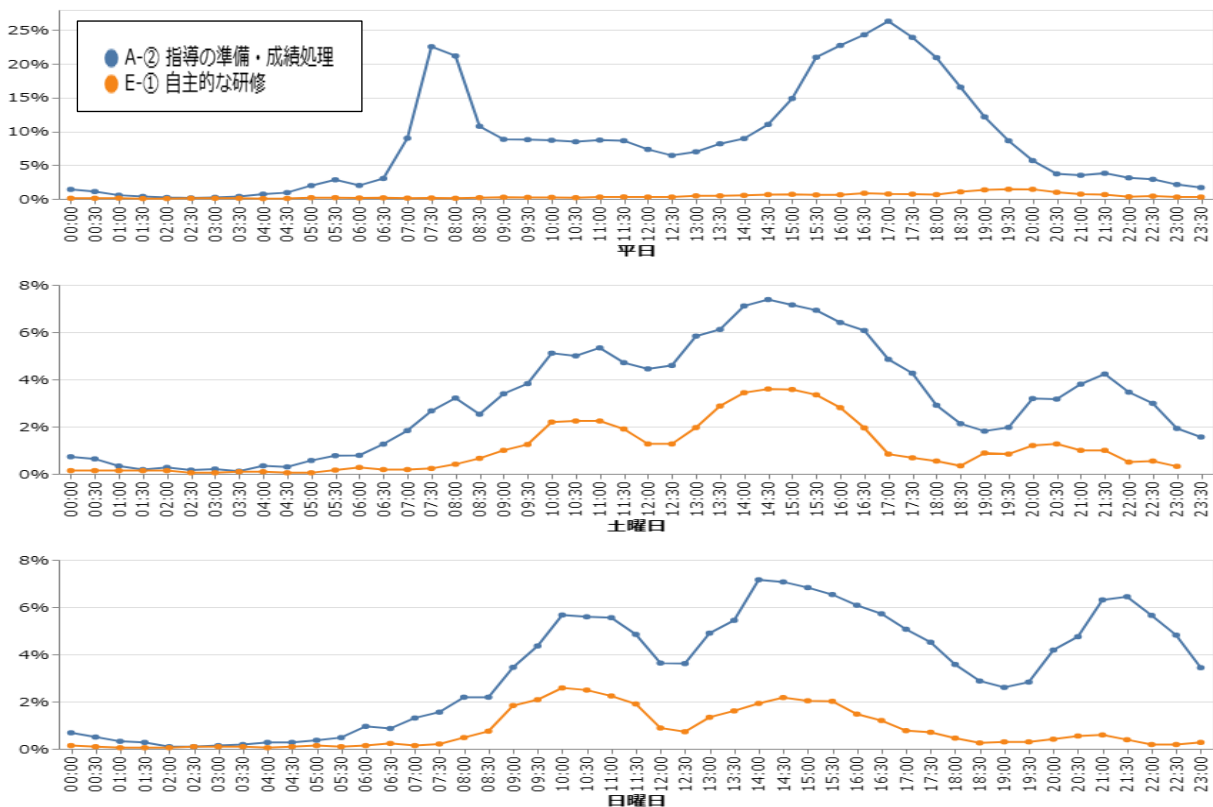
\* 自主的な研修の時間は、ほとんど取れていない。

(2) 業務ごとにかけた時間の集計

\* 校内や出張先などで行う業務、集団で行う業務（A②・E①以外）の時間を合計すると、それだけで7時間45分（所定の勤務時間）に達してしまう。所定の勤務時間の中では、まずそれらのそのため、授業の準備や自主研修などが「時間外」にあふれ、遅くまで学校に残ったり、自宅に持ち帰って行ったりせざるを得ない。所定の勤務時間に収まらない量の業務がある。

	平日	幼稚園	小学校	中学校	高校	特別支援学校
A① 子どもへの指導		4時間34.3分	5時間47.9分	5時間1.3分	4時間8.4分	5時間15.6分
A② 授業の準備・まとめ・成績処理		2時間5.1分	2時間29.1分	2時間23.9分	2時間36.4分	2時間13.5分
A③ 学校行事関連		40.6分	25.9分	33.8分	27.1分	25.4分
A④ 部活動・クラブ活動		0.6分	7.6分	28.9分	33.3分	7.1分
B① 会議など		24.0分	21.6分	23.4分	23.1分	29.8分
B② 分掌業務・書類等の作成		1時間12.2分	40.9分	53.2分	1時間8.9分	1時間4.9分
B③ 校内研修		4.7分	6.6分	3.9分	2.5分	3.0分
C① 保護者対応、PTA		10.1分	7.4分	8.3分	5.1分	5.0分
C② 地域への対応		0.3分	1.2分	0.8分	0.9分	1.3分
D 研修、出張		3.9分	8.4分	8.5分	12.3分	5.9分
E① 自主研修		3.0分	4.6分	3.1分	6.0分	4.3分
E② E②兼職兼業		0.6分	0.6分	0.4分	1.5分	0.4分
校内、出張先等で行う業務の合計		7時間11分	7時間48分	7時間43分	7時間03分	7時間38分
A②+E①（後回しにされてしまう業務）		2時間8.1分	2時間34分	2時間27分	2時間42分	2時間18分
1日の業務の合計		9時間19分	10時間22分	10時間10分	9時間46分	9時間56分

(3) 授業の準備や自主研修はどのような時間帯に行われているか



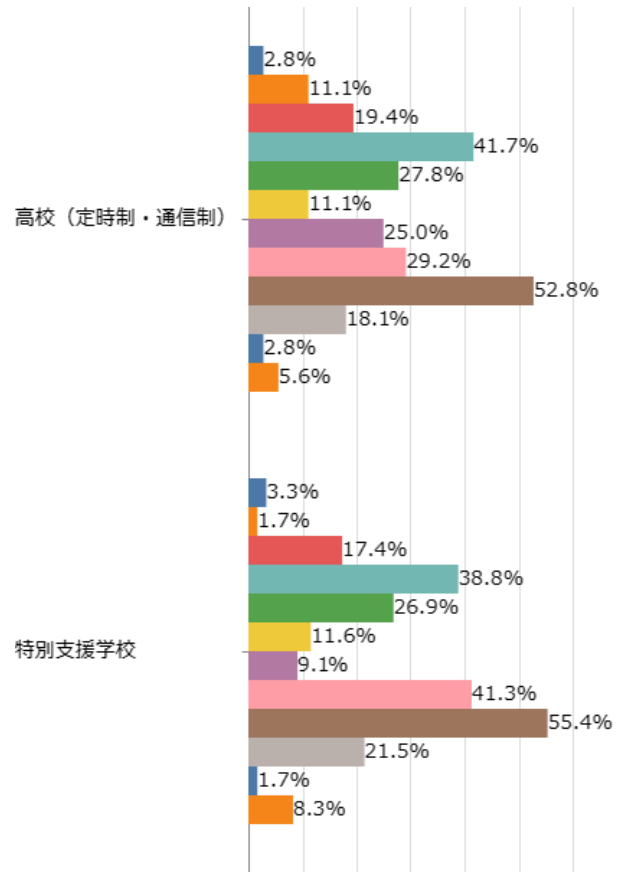
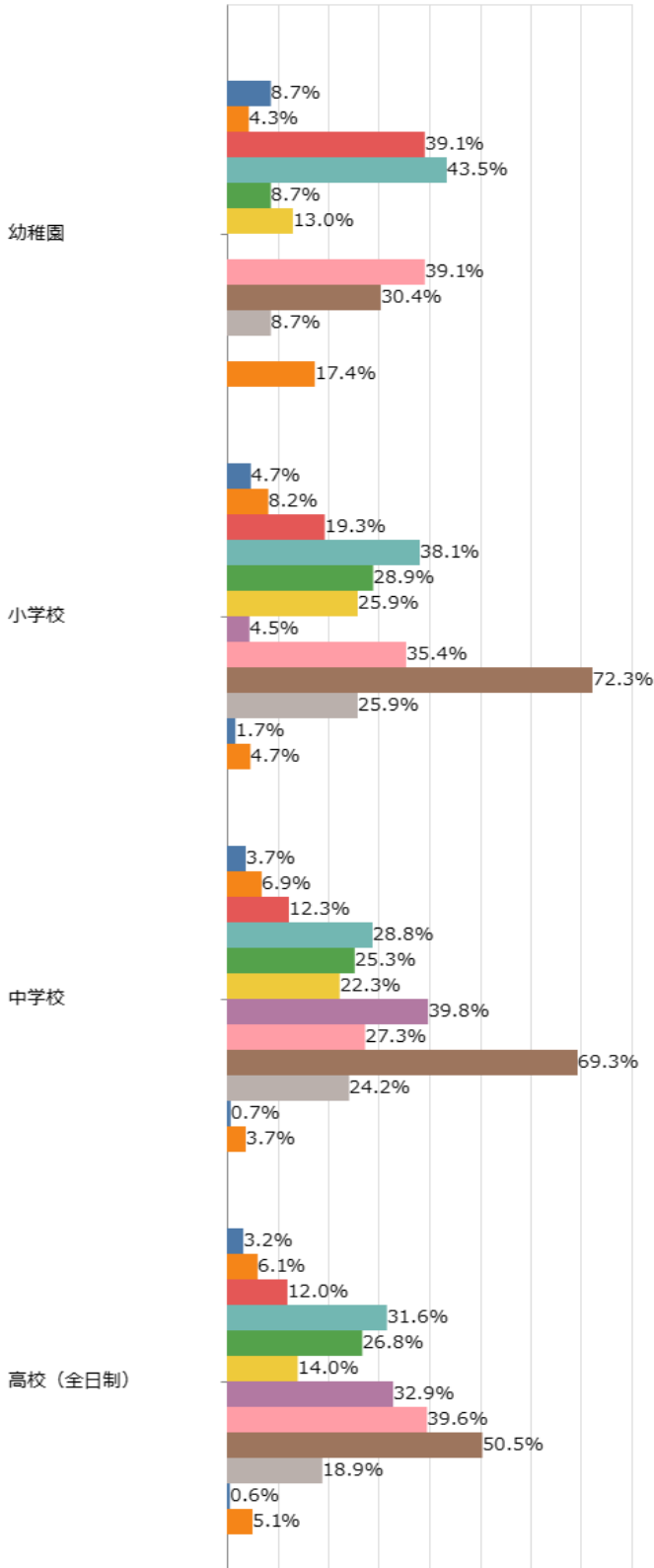
(4) 日常の業務の中で、それにかかる時間を減らしたいこと・もっと時間をかけたいこと

① それにかかる時間を減らしたいこと (以下は校種別の比較)

\* 特に小中学校で「報告書の作成」が約 70%、全体としてもそれが最も多い。  
 \* 次に「校務分掌等にかかわる業務」「会議や打ち合わせ」など。「ICT関連の業務」も目立つ。  
 \* 中学・高校では部活動も多い。

減らしたいと思うこと

- 01. 授業・学習指導とその準備
- 02. 学習指導以外の子どもの指導
- 03. 学校行事とその関連業務
- 04. 職種や校務分掌にかかわる業務
- 05. ICT関連の業務
- 06. 保護者、PTAや地域などへの対応
- 07. 部活動や課外活動
- 08. 会議や打ち合わせ
- 09. 教育委員会などに提出する資料や統計、報告書の作成
- 10. 初任者研修や教育委員会の主催する研修
- 11. 自主的な研修や自己研鑽
- 12. その他

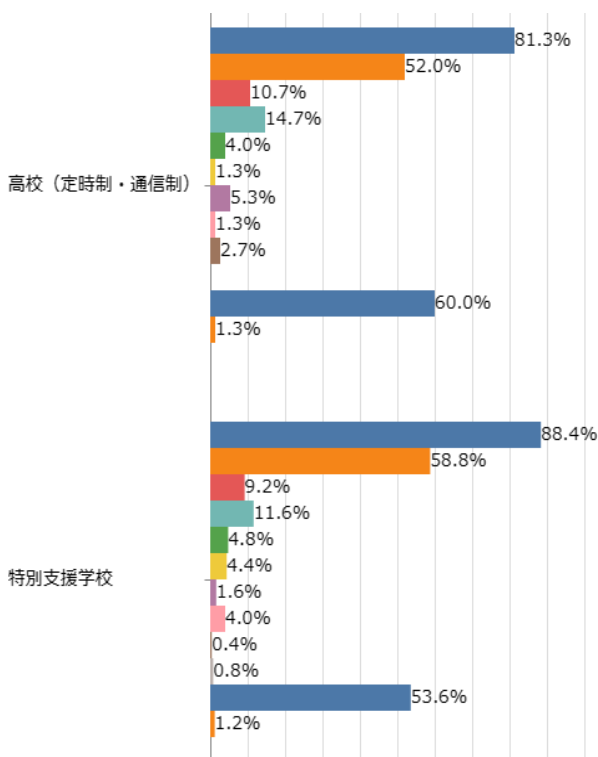
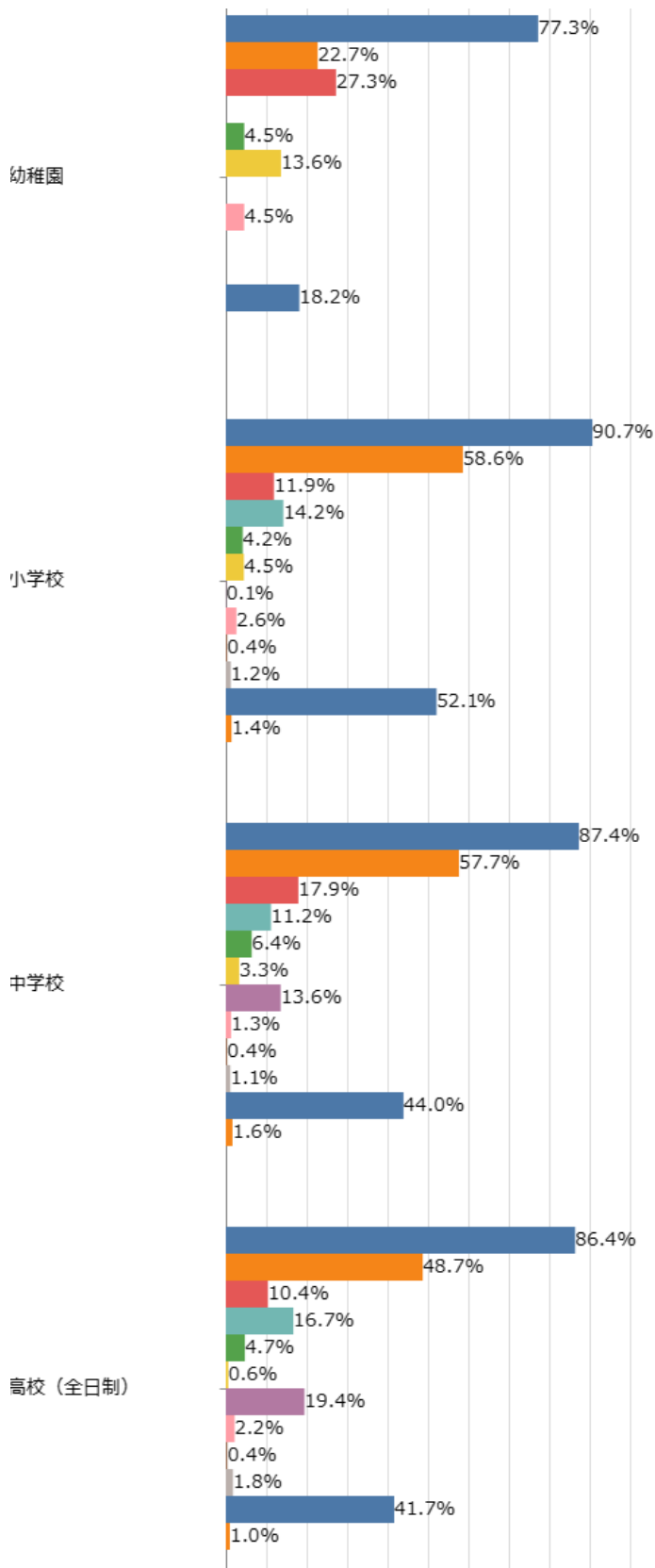


②もっと時間をかけたいこと（以下は校種別の比較）

\* どの校種も、1番多いのは「授業の準備」、2番目が「学習指導以外の子どもの指導」、3番目が「自主的な研修」という点で共通している（幼稚園は2番目が「学校行事」）。  
 \* 学級担任の比較では、担任をしている教員の「子どもの指導」が2割ほど割合が高い。

時間をかけてとりみたいこと

- 01. 授業・学習指導とその準備
- 02. 学習指導以外の子どもの指導
- 03. 学校行事とその関連業務
- 04. 職種や校務分掌にかかわる業務
- 05. ICT関連の業務
- 06. 保護者、PTAや地域などとの対応
- 07. 部活動や課外活動
- 08. 会議や打ち合わせ
- 09. 教育委員会などに提出する資料や統計、報告書の作成
- 10. 初任者研修や教育委員会の主催する研修
- 11. 自主的な研修や自己研鑽
- 12. その他





## 5. 授業の持ち時間数と授業準備について

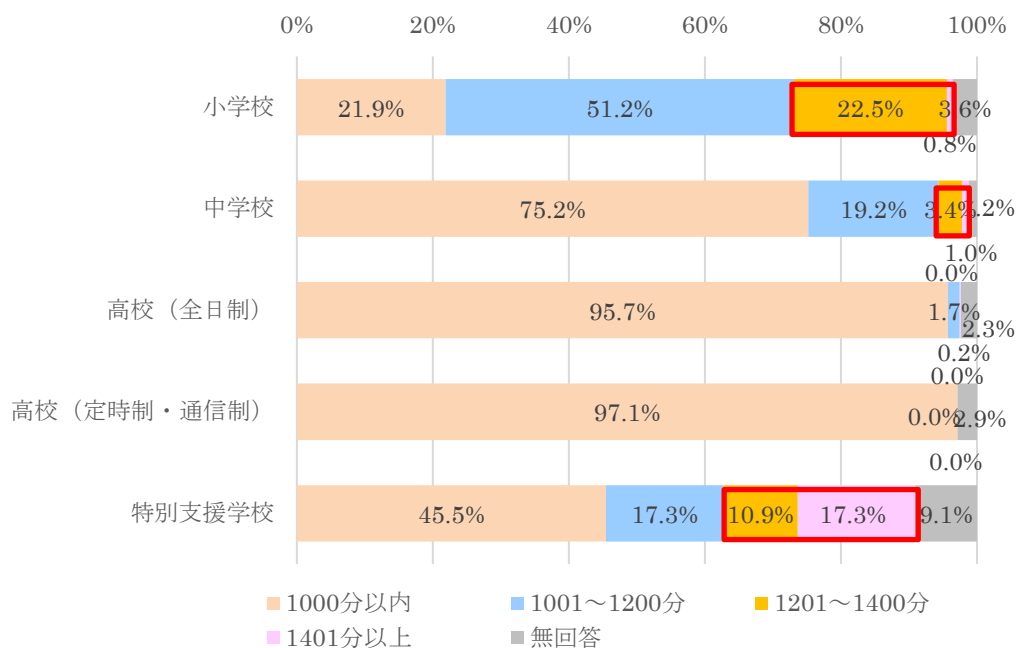
### (1) 受け持っている授業時間数の多さ

#### ①受け持っている授業（「総合」や学活を含む）は1週間でどれくらいか（教諭・校種別）

\* 小学校の 23.3%、中学校の 4.4%、特別支援学校の 28.2%が、週の勤務時間の半分以上の時間の授業を受け持っている。授業時間が多ければ、勤務時間内に授業準備やその他の業務にかかる時間が短くなってしまい、長時間労働の要因となる。特に小学校は深刻である。

※ 義務標準法制定時、当時の文部省は「1日の勤務時間の半分を授業に充てる」ことを標準に教職員定数を算出したと説明している。現在の勤務時間の週合計は 2325 分で、その半分は 1163 分≒1200 分)

	1000分以内	1001～1200分	1201～1400分	1401分以上	無回答
		小学校22コマ 中高 20コマ	小学校26コマ 中高 24コマ	小学校31コマ 中高 28コマ	
小学校	21.9%	51.2%	22.5%	0.8%	3.6%
中学校	75.2%	19.2%	3.4%	1.0%	1.2%
高校（全日制）	95.7%	1.7%	0.0%	0.2%	2.3%
高校（定時制・通信制）	97.1%	0.0%	0.0%	0.0%	2.9%
特別支援学校	45.5%	17.3%	10.9%	17.3%	9.1%



### (2) 授業準備の時間について

\* 小学校の 70.2%、中学校の 65.6%、特別支援学校の 64.5%が、所定の勤務時間の中で授業準備ができる時間はトータルで 60 分未満である。

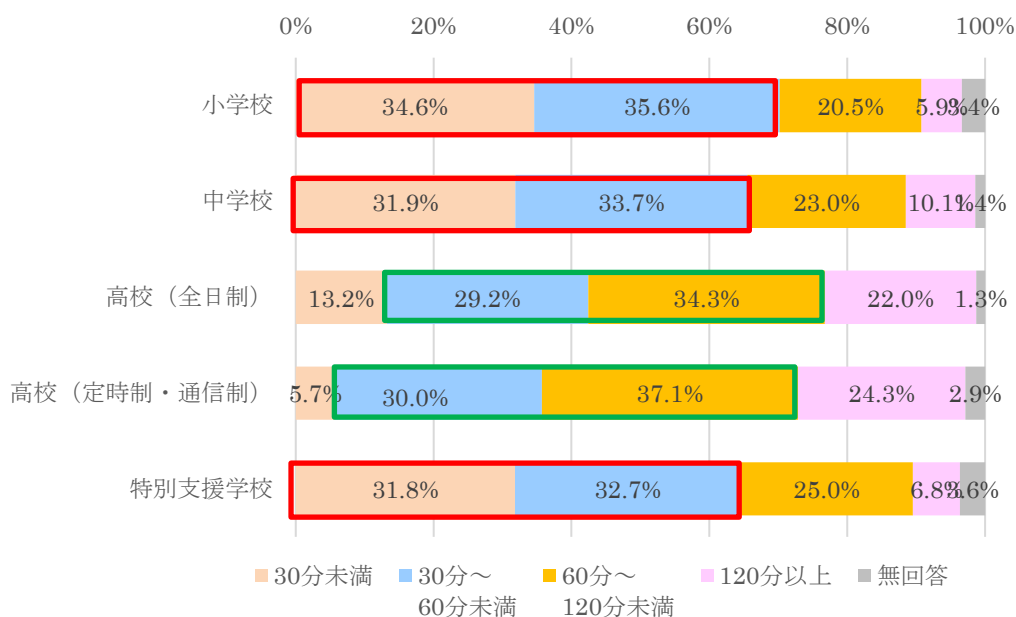
\* 「1コマの授業にどれくらいの準備が必要か」の問いに、小学校の 82.9%、中学校の 69.4%、特別支援学校の 70%が 30 分～90 分と回答している。一日に 4 コマの授業を受けもっていたとしても、2 時間～6 時間必要ということになり、所定の勤務時間を大きく超えてしまう。

\* 一方、高校の教職員は所定の勤務時間の中で授業準備ができているように見えるが、必要だと感じている時間はもっと長く、それだけやろうとすれば、やはり所定の勤務時間を超えてしまう。

\* 結局、多くの教職員が授業準備について、今の状況では十分ではないと感じていることが読み取れる。

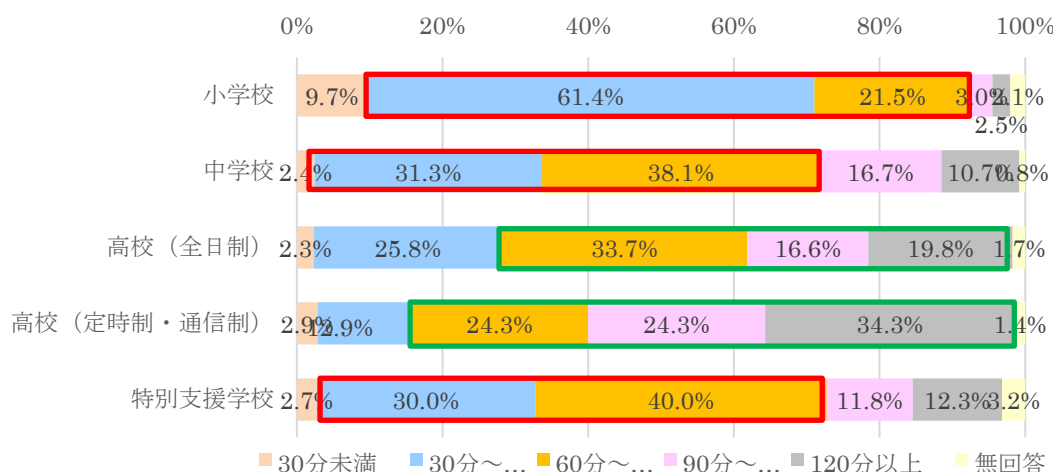
①所定の勤務時間の中で授業準備にあてている時間はどれくらいか（教諭・校種別）

授業準備の時間	30分未満	30分～ 60分未満	60分～ 120分未満	120分以上	無回答
小学校	34.6%	35.6%	20.5%	5.9%	3.4%
中学校	31.9%	33.7%	23.0%	10.1%	1.4%
高校（全日制）	13.2%	29.2%	34.3%	22.0%	1.3%
高校（定時制・通信制）	5.7%	30.0%	37.1%	24.3%	2.9%
特別支援学校	31.8%	32.7%	25.0%	6.8%	3.6%



②1コマの授業にどれくらいの準備が必要か（教諭・校種別）

必要と考える時間	30分未満	30分～ 60分未満	60分～ 90分未満	90分～ 120分未満	120分以上	無回答
小学校	9.7%	61.4%	21.5%	3.0%	2.5%	2.1%
中学校	2.4%	31.3%	38.1%	16.7%	10.7%	0.8%
高校（全日制）	2.3%	25.8%	33.7%	16.6%	19.8%	1.7%
高校（定時制・通信制）	2.9%	12.9%	24.3%	24.3%	34.3%	1.4%
特別支援学校	2.7%	30.0%	40.0%	11.8%	12.3%	3.2%



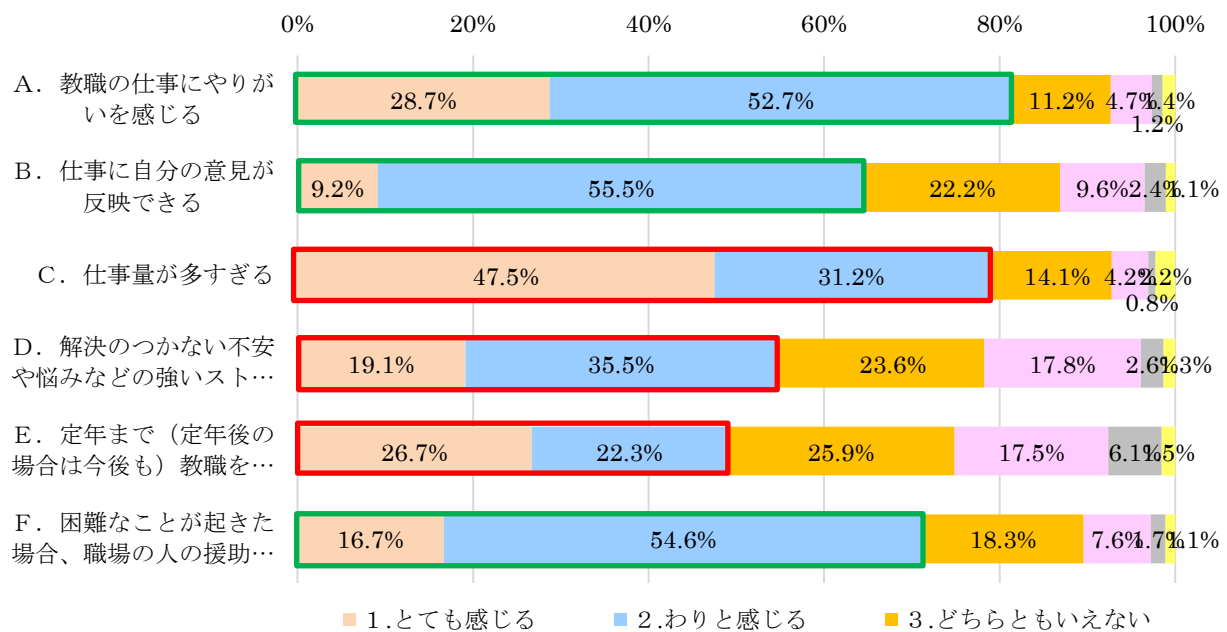
## 6. 調査票（2）の分析から（全職種）

### （1）働く上でやりがい、ストレスなどの意識調査

#### ①あなたは次のことをどれくらい感じますか

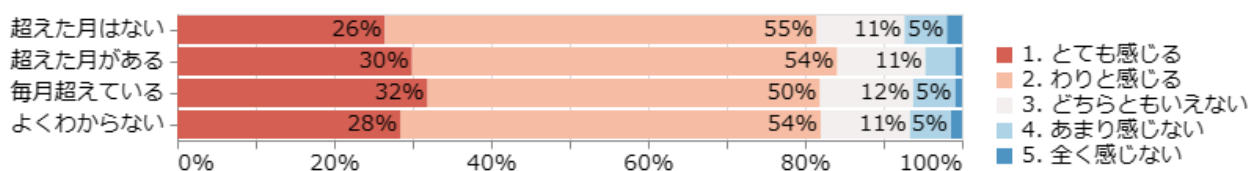
\* 「やりがいを感じる」が81.4%、「自分の意見が反映できる」が64.7%、困った時「援助や助言が得られる」が71.3%でありながら、「仕事が多すぎる」が78.7%、「ストレスを感じる」54.6%、「続けられるか自信がない」49%。やりがいを感じる一方で、ストレスも多く、「続けていかれない」と感じている。

あなたは次のことをどれくらい感じますか	1.とても感じる	2.わりと感じる	3.どちらともいえない	4.あまり感じない	5.全く感じない	無回答
A. 教職の仕事にやりがいを感じる	28.7%	52.7%	11.2%	4.7%	1.2%	1.4%
B. 仕事に自分の意見が反映できる	9.2%	55.5%	22.2%	9.6%	2.4%	1.1%
C. 仕事量が多すぎる	47.5%	31.2%	14.1%	4.2%	0.8%	2.2%
D. 解決のつかない不安や悩みなどの強いストレスを感じる	19.1%	35.5%	23.6%	17.8%	2.6%	1.3%
E. 定年まで（定年後の場合は今後も）教職を続けられるか自信がない	26.7%	22.3%	25.9%	17.5%	6.1%	1.5%
F. 困難なことが起きた場合、職場の人の援助や助言が得られる	16.7%	54.6%	18.3%	7.6%	1.7%	1.1%

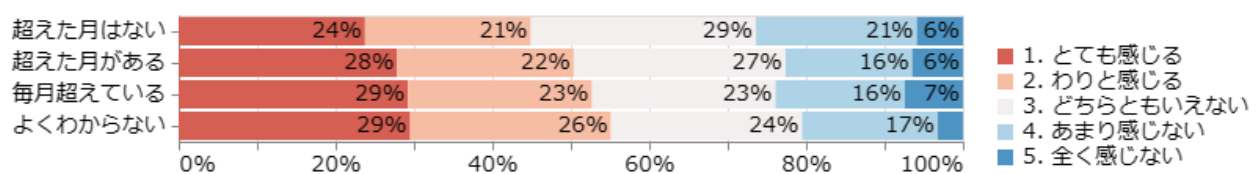


#### ②時間外勤務の長さによる比較

##### ●上限指針を超えた月があるかどうか × 教職の仕事にやりがいを感じているか



##### ●上限指針を超えた月があるかどうか × 「働き続ける自信がない」と感じているか



### ③自由記述に寄せられた声から

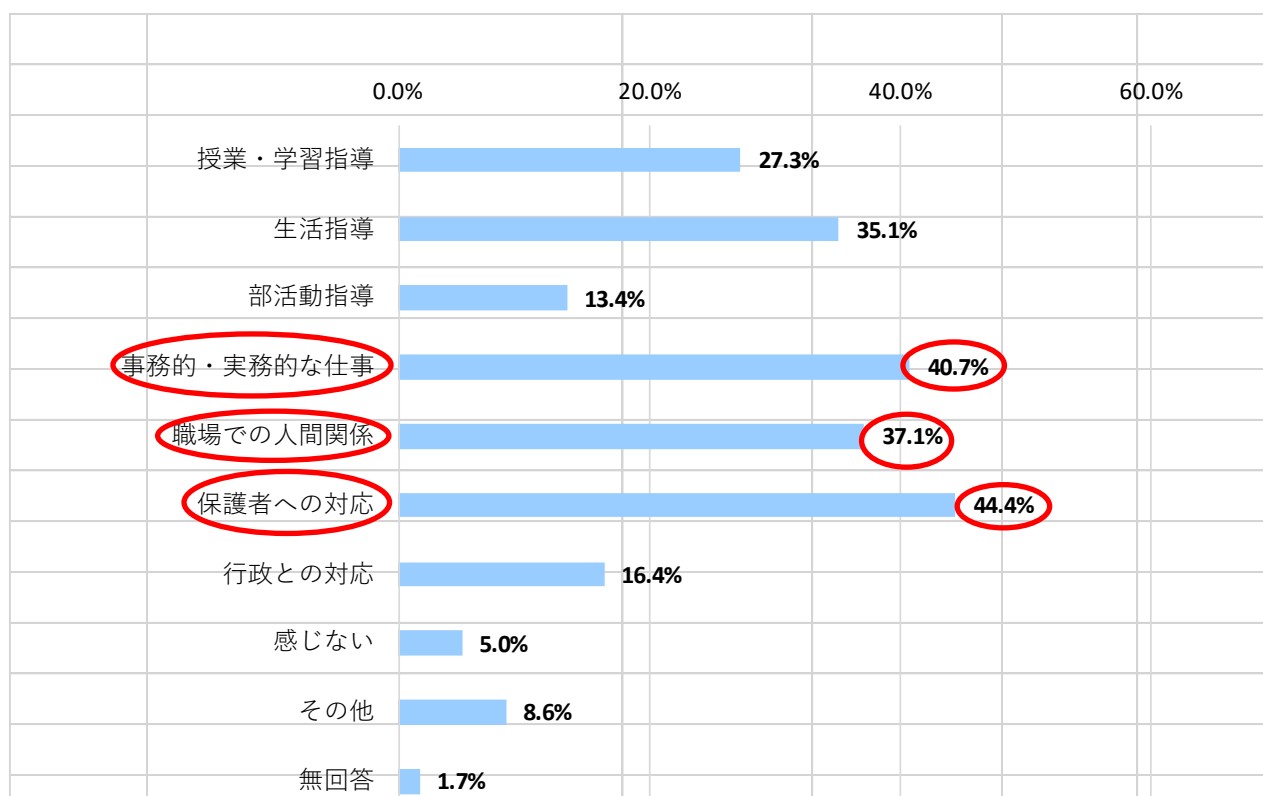
\* やりがいのある仕事だとは思いますが、思いがあればあるほど、自分の時間がなくなるしんどい仕事でもあると感じます。この先、子育て等考えた際に、この働き方はできないなと思うことがあり、不安に感じるが多々あります。教師を目指したいと子どもに言われた際に、教師になるといいよ！とおすすめできるような仕事であってほしいと思います。そのためにも業務の改善等をしてほしいです。(東京・小学校・30歳以下・女性)

\* 「子どものために」というやりがいにつけ込んだ、労働者としての当たり前の働き方を無視した制度を早く改善しないと現職の先生をすり潰していただけたと思います。またそんなことがまかり通っている職場に、今後就こうと思ってくれる人はいないと思います。(和歌山・小学校・30歳以下・男性)

### ②解決のつかない不安や悩みなどの強いストレスを感じるのは次のどの項目ですか（複数回答可）

\* 実務的な仕事や保護者との対応、職場の人間関係など、大人との対応にストレスを感じる割合が多い。

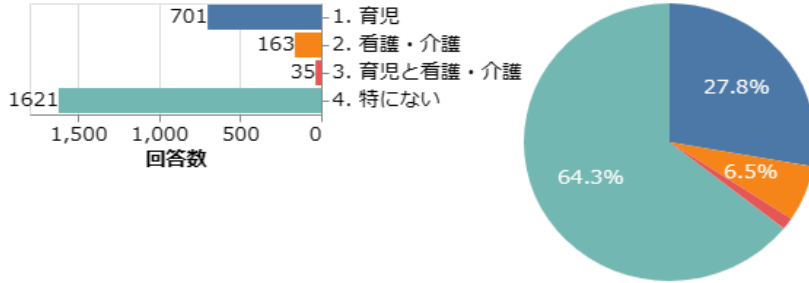
ストレスを感じる項目	割合
授業・学習指導	27.3%
生活指導	35.1%
部活動指導	13.4%
事務的・実務的な仕事	40.7%
職場での人間関係	37.1%
保護者への対応	44.4%
行政との対応	16.4%
感じない	5.0%
その他	8.6%
無回答	1.7%
合計	



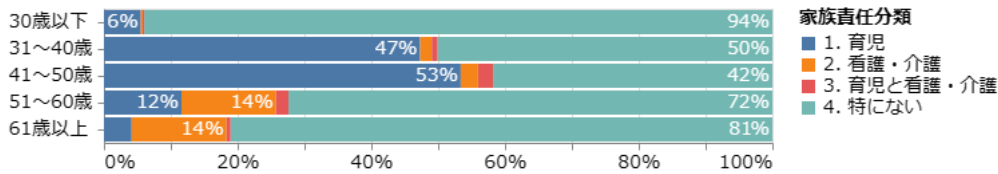
(2) 家族の育児、看護や介護などを行いながら仕事をする教職員

- \* 約 35%が、育児、看護・介護などの家族責任を負っている。30 代、40 代はほぼ半数である。
- \* こうした家族責任を負いながら学級担任をったり、部活顧問をしたりしている割合も高い。
- \* 家族責任を負う教職員が「働き続ける自信がない」と答える割合が高い。

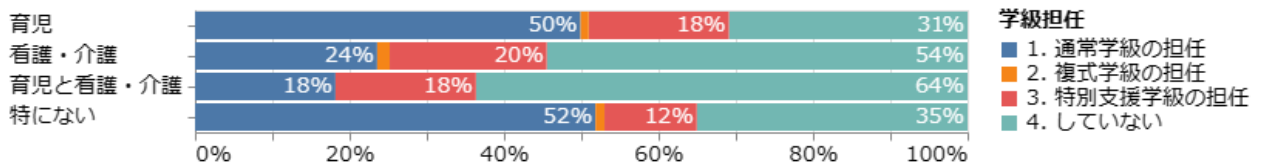
10. あなたは帰宅後、家族の育児、看護や介護などを行っていますか（複数回答可）



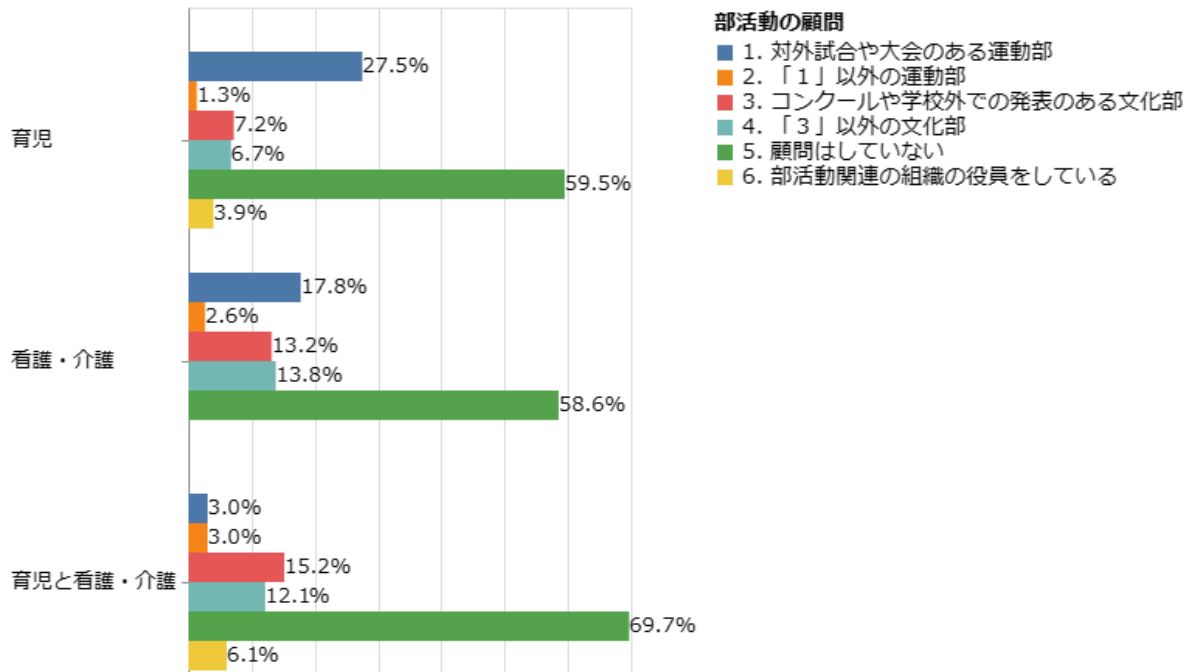
●年代別



●家族責任を持ちながら学級担任

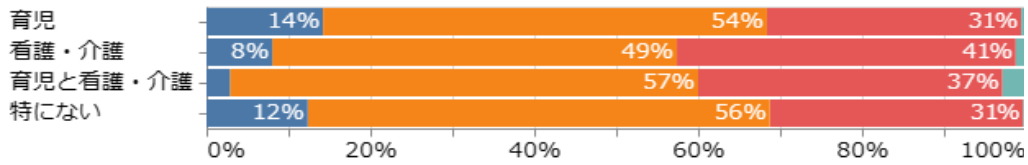


●家族責任を持ちながら部活動顧問



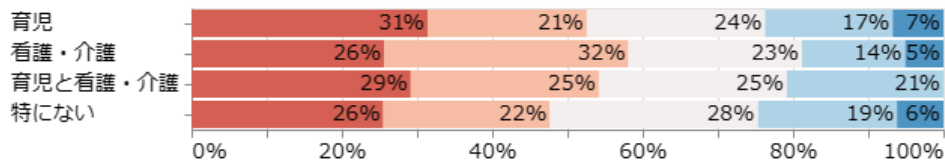
●睡眠によってその日の疲れは解消していますか。

- 1. 一晩の睡眠で心身の疲れが解消され、次の日の勤務に必要なエネルギーが充電できている
- 2. 心身の疲れが翌日に残ることが、時々ある
- 3. 睡眠によってもその日の疲れは解消せず、溜まっていく感じがする
- 4. その他



●定年まで教職を続けられるか自信がないと…

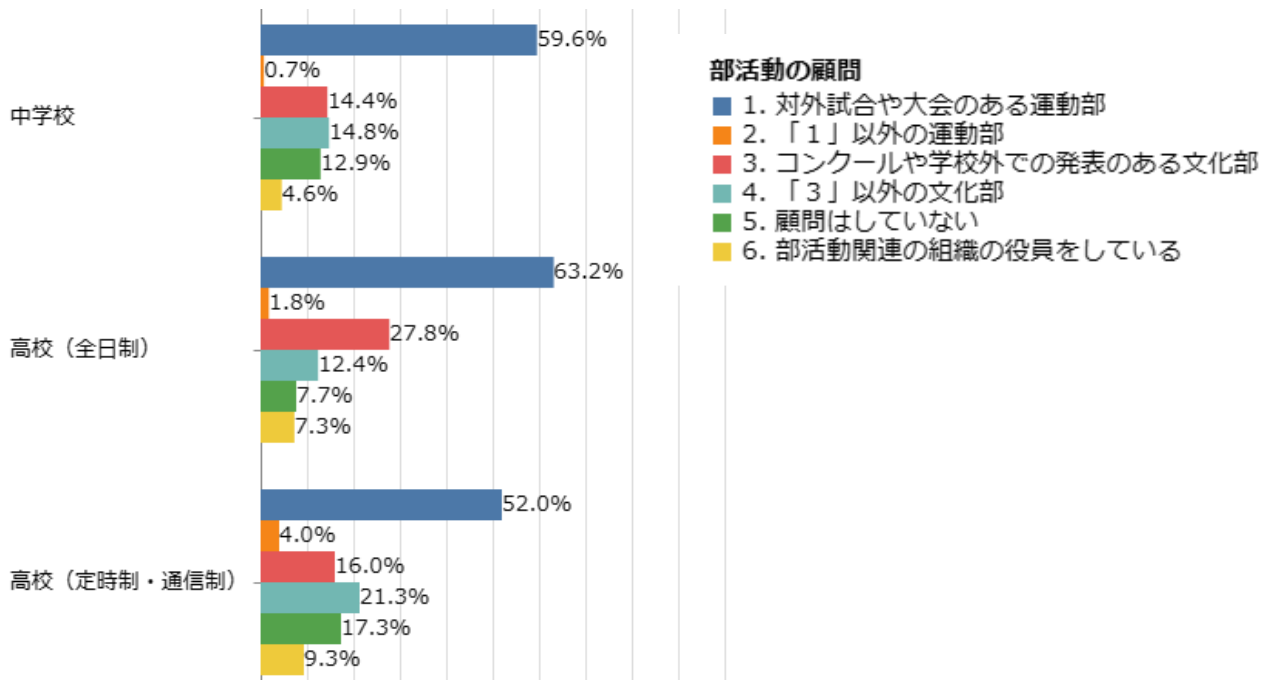
- 1. とても感じる
- 2. わりと感じる
- 3. どちらともいえない
- 4. あまり感じない
- 5. 全く感じない



(3) 部活動について

- \* 中学校・高校の8～9割の教職員が部活動の顧問をしている。しかも、対外試合やコンクールなどのある部活動の顧問が大半である。
- \* 指導日数を見ると、全体で12.7%が平日毎日、16%が土日両日、部活動の指導にあたっている。

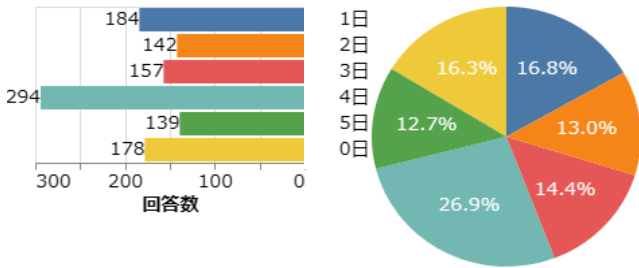
①部活動の顧問をしている割合



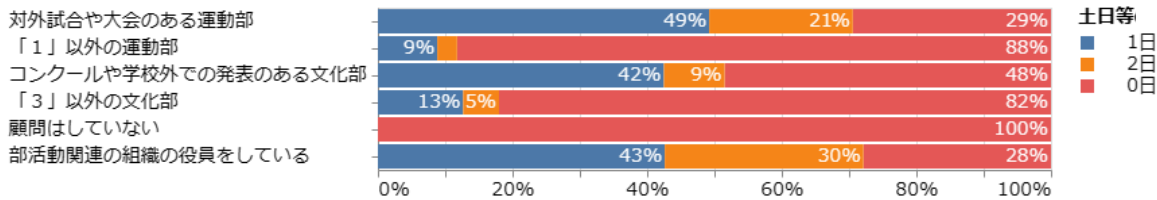
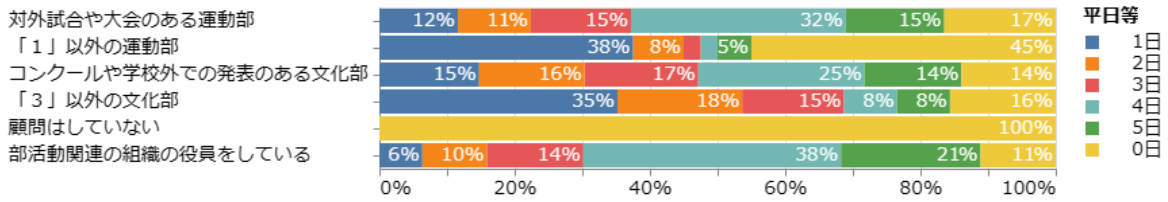
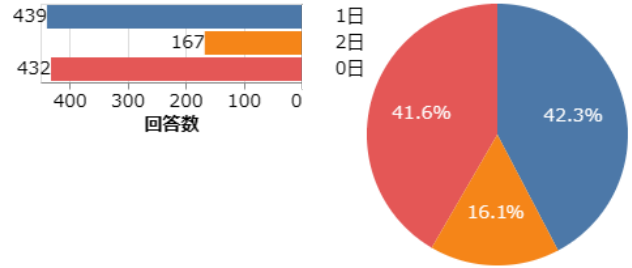
②指導日数（調査期間中の1週間）

\* 12.7%が平日5日全部、16.1%が土日両日、指導にあっている。

●平日の指導日数



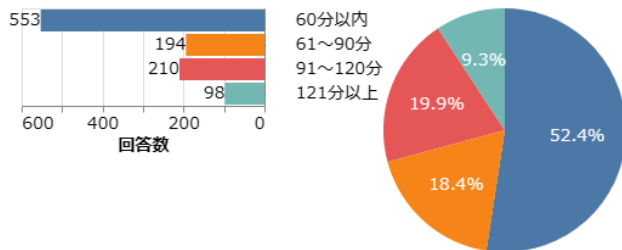
●休日の指導日数



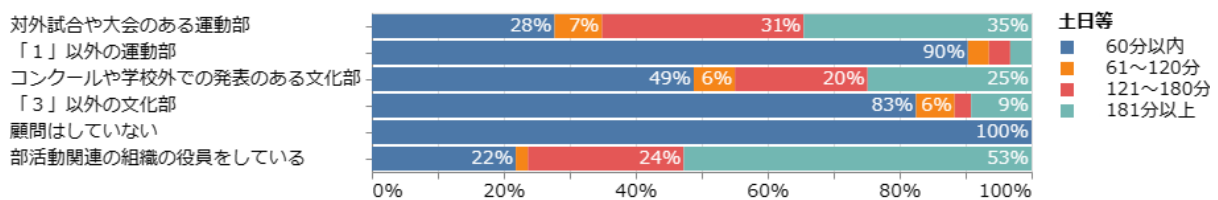
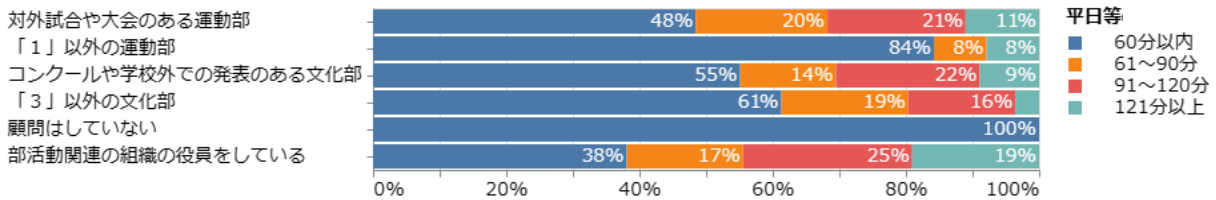
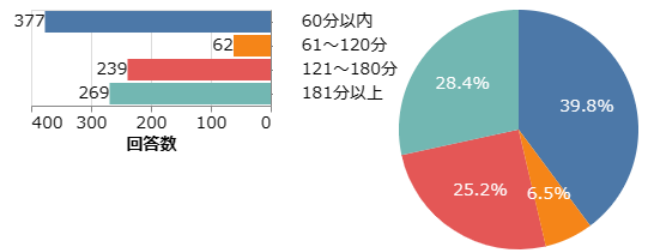
③指導時間（調査期間中の1週間）

\* 9.3%が平日2時間以上、28.4%が土日3時間以上の指導にあっている。

●平日の指導時間

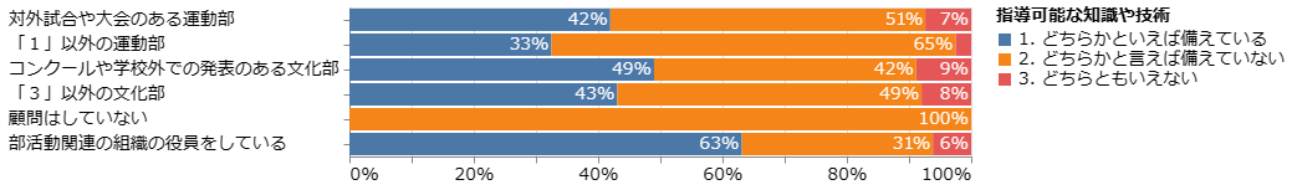
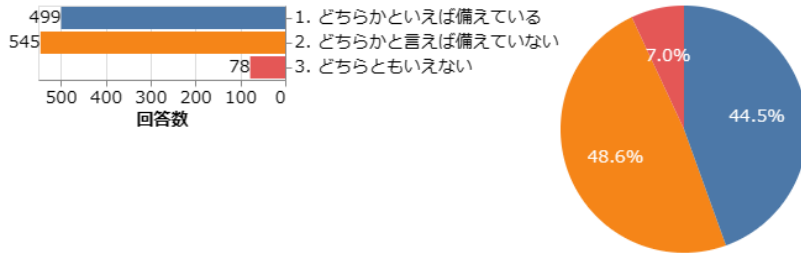


●休日の指導時間



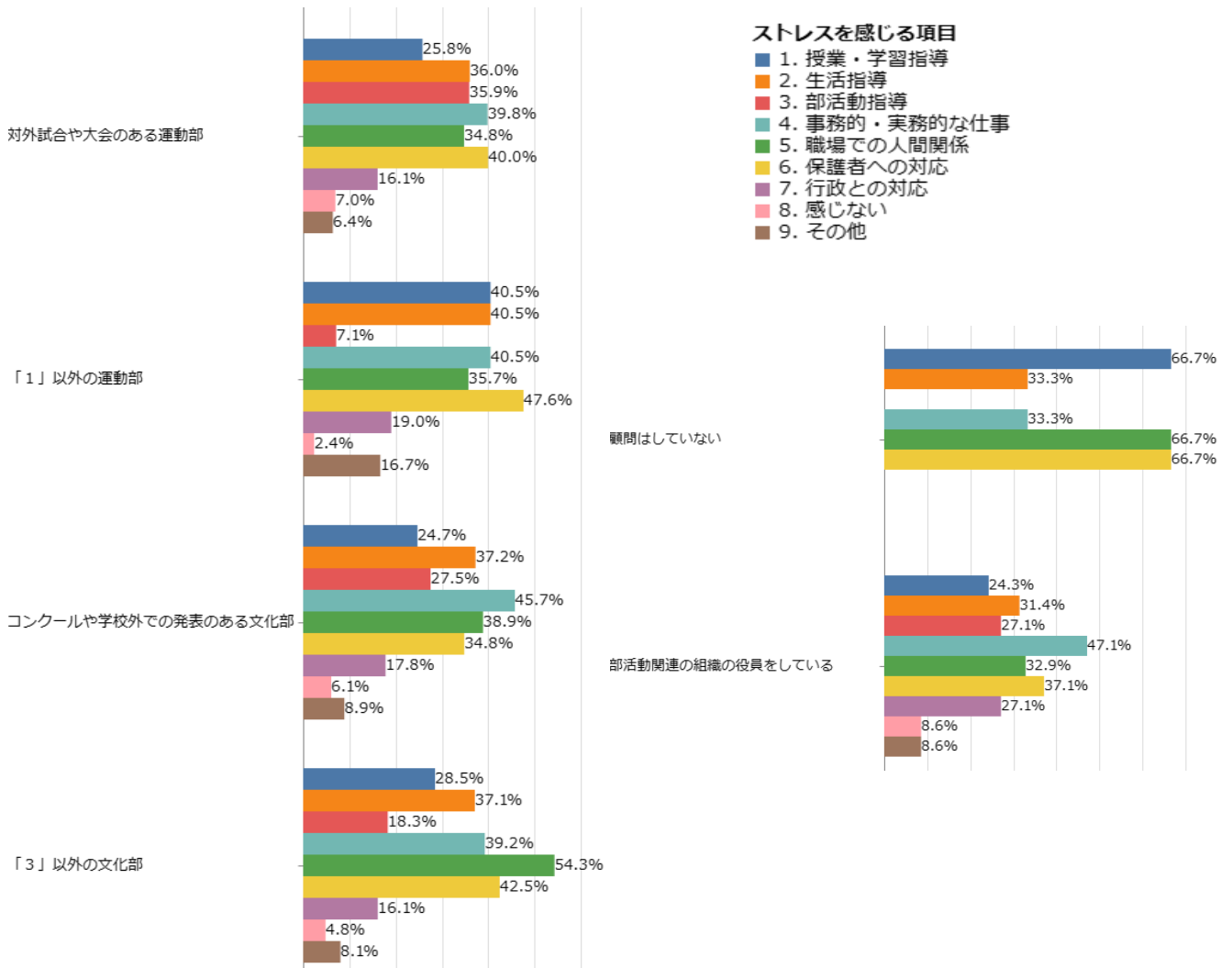
#### ④部活動を指導可能な知識や技術を備えているか

\* 「どちらかと言えば備えていない」方がわずかに多い。大会やコンクールがある部活動でも半数が「備えていない」と答えている。



#### ⑤部活動顧問の受け持ちの有無とストレスを感じる項目

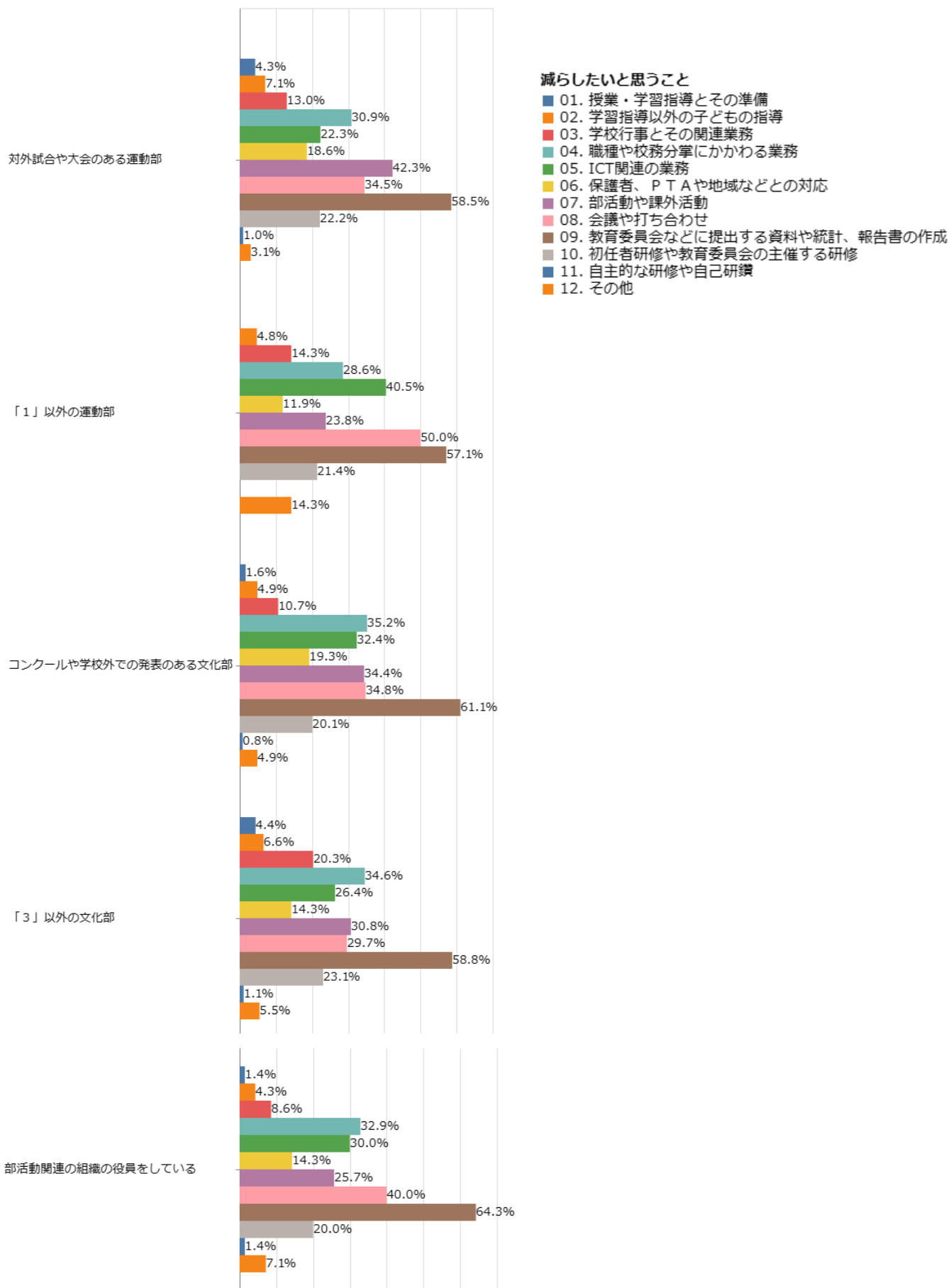
\* 部活動顧問の多くが、部活動指導にストレスを感じている（平均 30%）





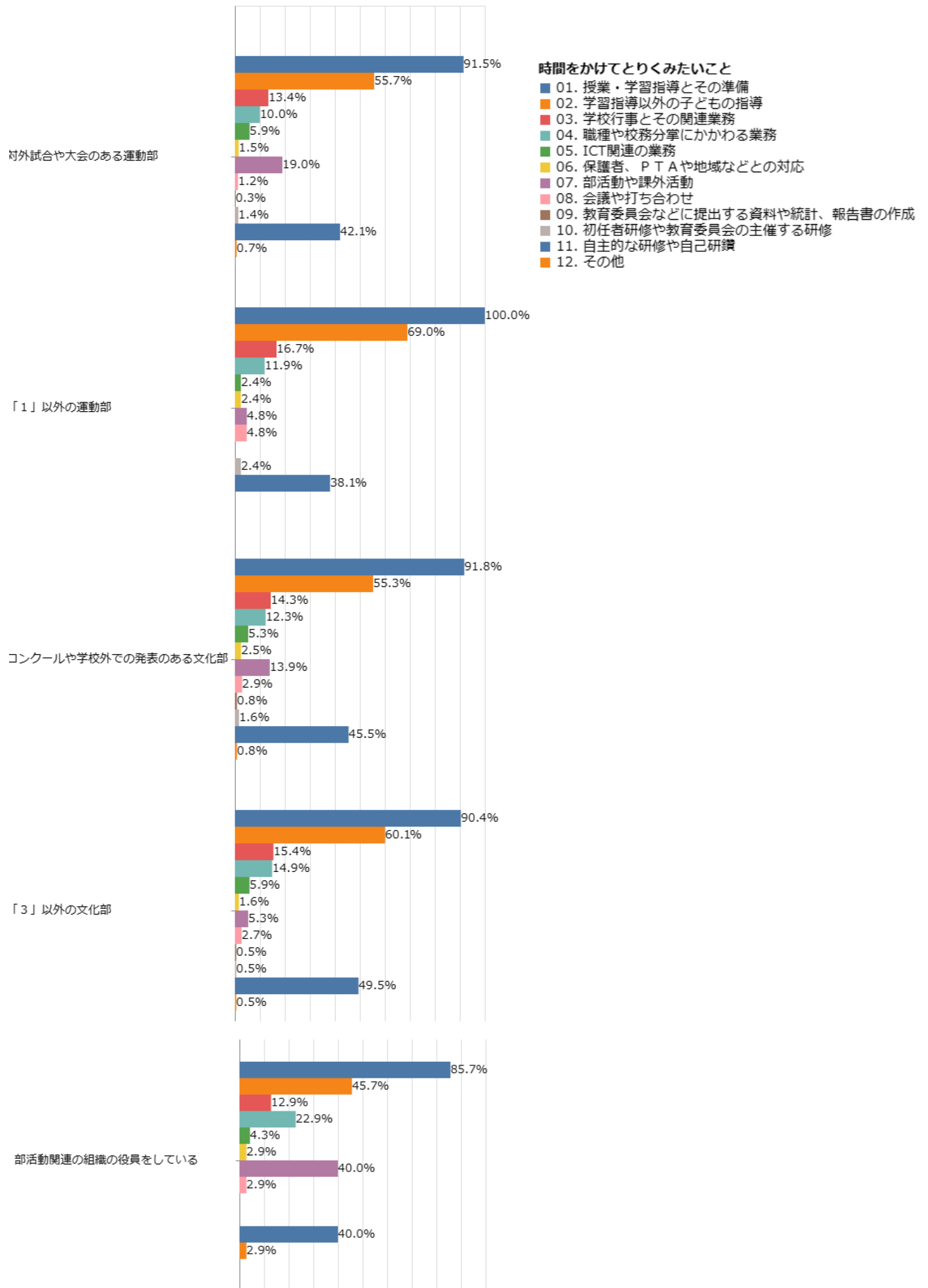
⑥日常業務の中で、部活動顧問と「かける時間を減らしたい」項目

\* 部活動顧問の多くが、部活動指導に「かける時間を減らしたい」と回答している（平均 38%）



⑦日常業務の中で、部活動顧問と「もっと時間をかけたい」項目

\* 一方で、16%の部活動顧問は部活動の指導に「もっと時間をかけたい」としている。

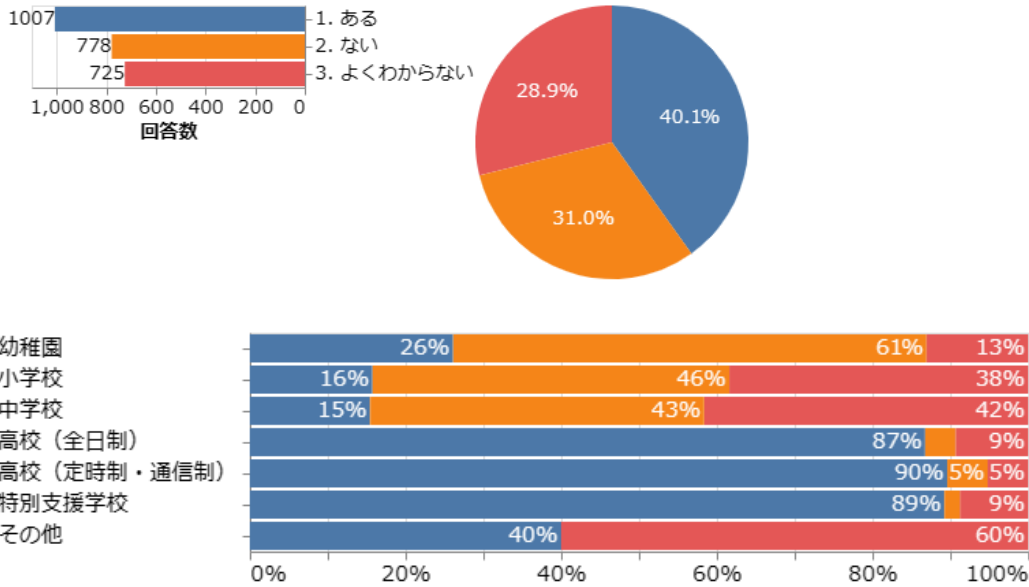


(4) 労働安全衛生活動

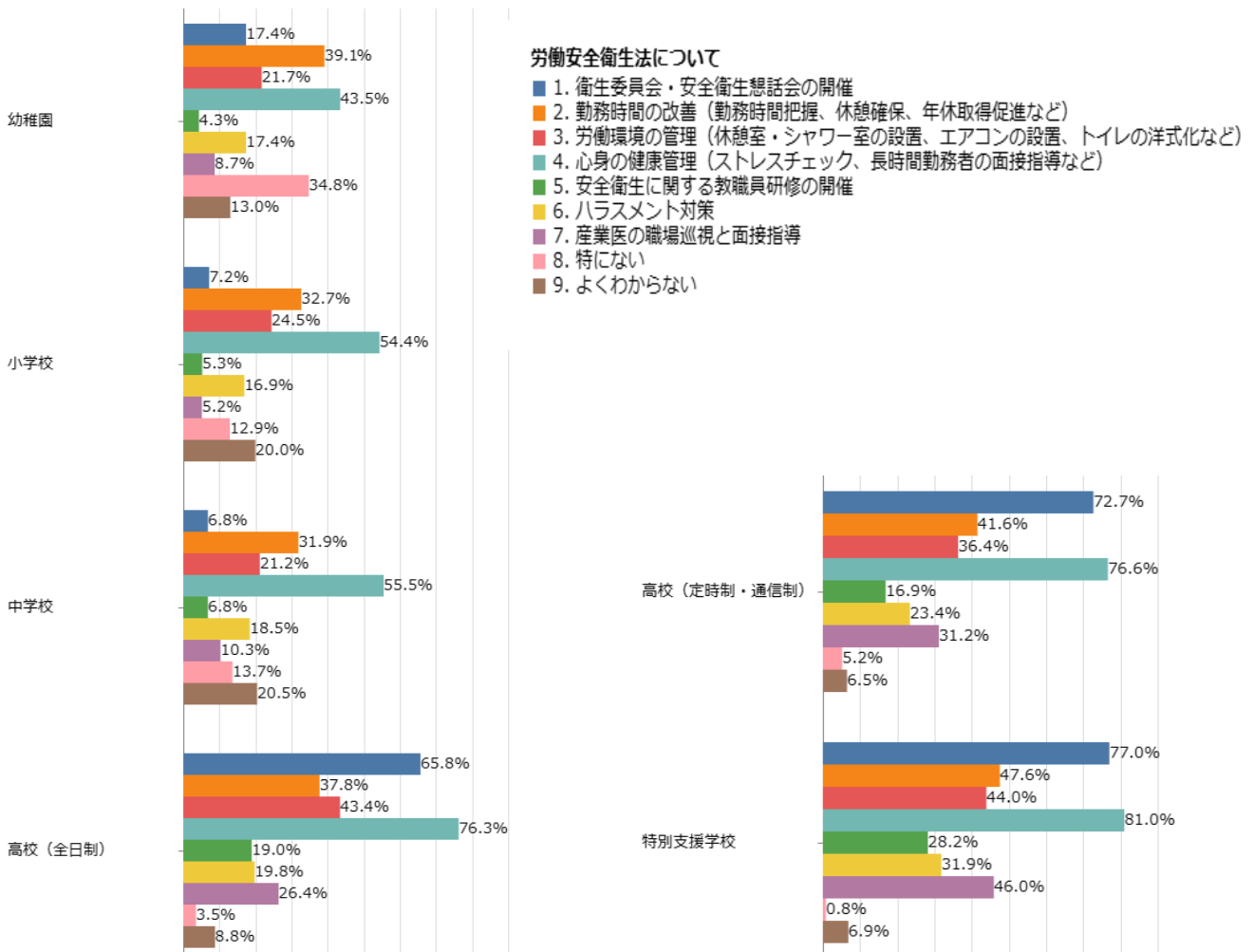
\* 衛生委員会の設置については、義務化されている 50人以上の職場が多い高校・特別支援学校とそうでない小・中学校との状況が対照的。

● 衛生委員会などが設置されているか

25. あなたの学校には「衛生委員会」または「安全衛生懇話会」等がありますか（1つ選択）



● 労働衛生安全法にもとづき、どのようなことが行われているか（校種別）

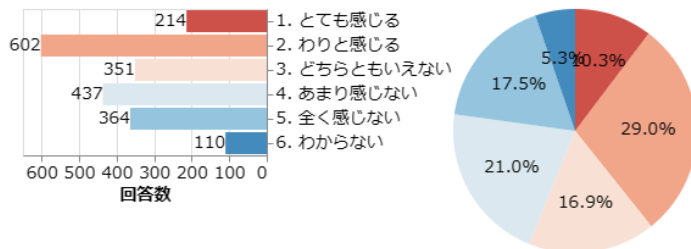


(5) 教職員の「働き方改革」について

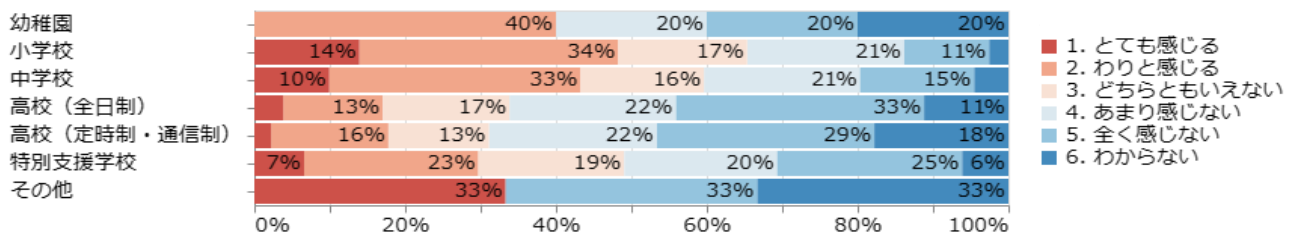
①業務支援員などの配置が業務の改善に役立っているか

- \* 業務支援員などの配置によって「助かっている」とそうではないがほぼ同じくらい。小中学校などで比較的「助かっている」と感じているとの回答が多い。
- \* 支援員が配置されている職場では約半数が「助かっている」と感じているが、20～30%はそうではないとの回答も。

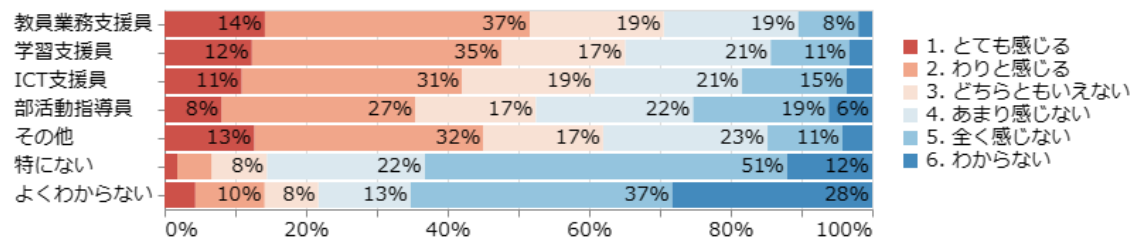
34. あなたは、この間すめられてきた「学校における働き方改革」の影響についてどう考えますか（各項目1つ選択）  
 ※) A. 教員業務支援員などが配置されたことで、業務が軽減され、助かっている



●校種別の比較



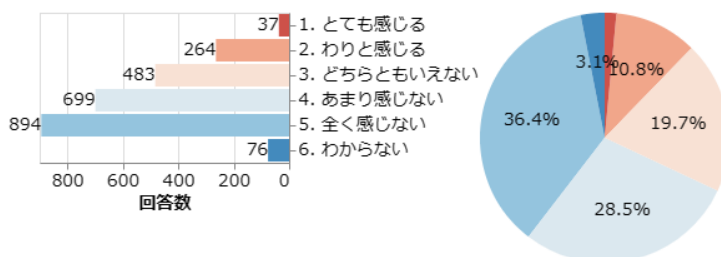
●支援員などが配置されているかどうかによる比較



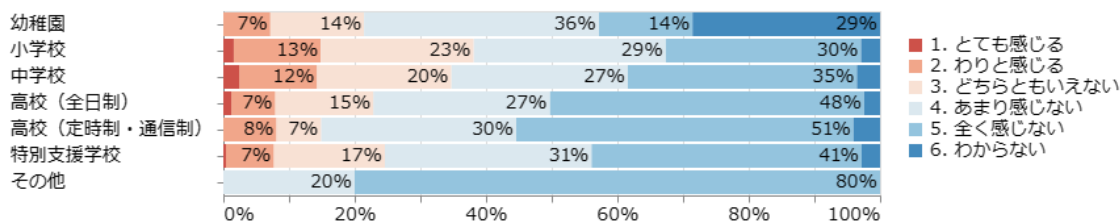
②教育のICT化が業務の改善につながっているか

- \* 教育のICT化が「業務の改善につながっている」という回答は約1割で、そう思わない回答が85%。
- \* 校種別にみると、小中学校で「業務の改善につながっている」が多い。

34. あなたは、この間すめられてきた「学校における働き方改革」の影響についてどう考えますか（各項目1つ選択）  
 ※) E. 授業や校務における教育のICT化が、業務の軽減につながっている

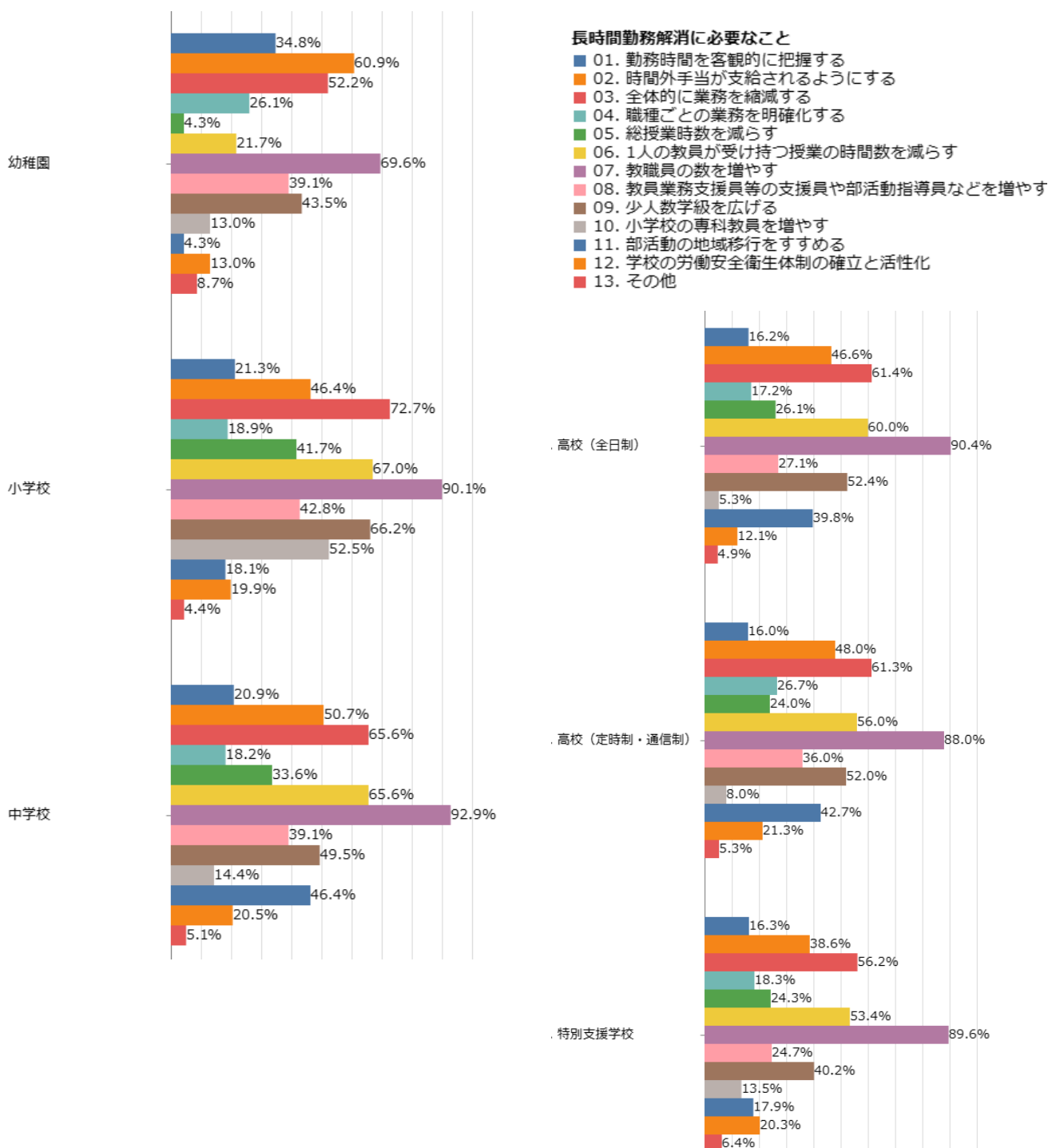


## ●校種別の比較



## (6) 長時間勤務解消に必要なこと

- \* どのようなクロス集計をしても、全体的な傾向は変わらない。最多は、教職員の数を増やすこと。
- \* 小学校では「専科教員を増やす」の率が高い。どの校種も、学級の人数が多いほど「少人数学級」の率が高い。



●学級の人数による比較

